

令和8年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会 作業技術研究会（夏期）開催要領

東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会
農研機構東北農業研究センター
スマート水田輪作研究領域長 長谷川 啓哉

1. 趣 旨

近年、土地利用型作物を中心に人工衛星データやAI解析等を利用し、生育状況を予測するシステムが実装され、施設園芸においても、画像データなどから生育情報を取得する技術の開発が進んでいる。生育状況を的確に把握することは、適期作業による安定生産に繋がるだけでなく、出荷量予測に基づく販売戦略の高度化にも資する。そこで本研究会では、生育状況を把握し、コントロールするための環境モニタリングと制御技術、適期作業を可能にするための機械化体系の現状を整理、共有するとともに、将来的に求められる作業技術に関する研究開発の方向性を検討する。

2. 開催日時 令和8年8月20日（木）13:15 ～ 17:00

8月21日（金）8:45 ～ 11:45

3. 開催場所

- 1) 見学会：北條農園（福島県白河市）、まどか菜園（福島県郡山市田村町）
- 2) 検討会・合同シンポジウム（農業食料工学会東北支部との合同開催）：
福島大学食農学類（福島県福島市金谷川）

4. 日 程

- 1) 見学会（8月20日（木）13:15 ～ 17:00）
新白河駅集合～郡山駅解散、借上げバス利用
・北條農園（福島県白河市東上野出島源兵エ池3）
・まどか菜園（福島県郡山市田村町大供向173）
- 2) 検討会（8月21日（金）8:45 ～ 9:45）
（1）夏期研究会テーマに関する各県の現状と課題および外部資金獲得に向けた課題提案等
（2）令和8年度作業技術研究会（冬期）重点検討事項、ほか
- 3) 合同シンポジウム（8月21日（金）10:00 ～ 11:45）
テーマ：「環境モニタリングと制御技術および適期作業に向けた機械化体系の現状と展開方向」
（1）施設園芸の生育情報モニタリングシステムについて
農研機構 農業機械研究部門 太田 望
（2）「通い農業支援システム」の活用事例と展開（仮）
農研機構東北農業研究センター 山下 善道
Seed 株式会社 松岡 貴志
（3）F-seed. lab の取組みと、これからの展開について
株式会社 福島タネセンター 代表取締役 橋本 克美

5. 参集範囲

国立研究開発法人試験研究機関および公設試験研究機関の関係者、農林水産省、大学、県行政部局・県普及部局の関係者、その他推進部会長が必要と認める者

6. 連絡先

農研機構東北農業研究センター（福島研究拠点）_農地高度利用研究領域 金井源太
〒960-2156 福島県福島市荒井字原宿南 50
TEL : 024-593-6175
E-mail : kanai.genta462@naro.go.jp

7. その他

研究会の運営、資料提出等の詳細については、別途事務連絡する。